

発行日 平成27年6月11日
発行者 宮城県総合教育センター 所長 阿部 恒幸
〒981-1217 名取市美田園2丁目1番4号 ☎: 022-784-3541 (代表)



総合教育センターはどう見えているか

所長 阿部 恒幸

皆様には、日頃から当センターの事業に多大な御理解と御協力をいただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

総合教育センターは、開所3年目を迎えました。初年度の平成25年度は、青葉山と南中山から美田園に移転したことや2つのセンターが統合したことによる変更点などもあり、来所される皆様も戸惑うことがあったかと思えます。平成26年度は、それらも馴染んできて、各種の研修、土曜講座、学校教育に係る調査・研究、各種相談・支援事業などをお陰様で滞りなく実施することができました。

中でも、当センターの中心的事業である研修については、117講座で延べ18,521名(前年度比1,849増(+11.1%))の受講を得、教職員・児童生徒・保護者・一般県民を対象に12講座で実施した土曜講座についても、延べ550名(前年度比189名増(+52.4%))の参加を得ることができました。

3年目の今年度もこの結果に満足せず、受講者数の増だけでなく、受講満足度のアップにも力を入れていきたいと思っております。そのため、今年度は「総合教育センターはどう見えているか」ということを4月当初に所員全員で共有することからスタートいたしました。

「そもそも広報活動が不十分なのではないか?」、「敷居が高いと思われていないか?」、「研修会の内容、講師の人選、日程は適切か?」、「問い合わせ対応に不手際はないか?」など、様々な観点から不断に点検し、受講満足度を上げていきたいと考えております。

各研修会では、最後に必ずアンケートをお願いしております。当たり障りのない回答だけでは「カイゼン」には繋がりません。家路を急ぎたい気持ちは理解できますが、率直な意見が我々にとって最も大切なものです。研修参加の際は、是非とも「カイゼン」の視点でアンケートへの御協力をお願いいたします。

Mナビが授業&校内研究をサポート!

カリキュラム開発支援室(愛称:Mナビ)では、先生方が各教科等の指導改善に取り組むことを支援し、教育活動上の様々な相談に応じています。相談を希望される場合は、1週間前までに電話または下記の電子メールアドレスでご予約ください。また、Mナビでは、多数の教育資料等を公開しています。どうぞご利用ください。

1 Mナビで公開している教育分野の専門資料群

教科書、各教科等、特別支援教育関係の図書や雑誌をはじめ、文部科学省、宮城県及び県内各市町村教育委員会が作成した指導の手引書や研究報告書など、最新の行政資料を所蔵、公開しています。

◆利用案内

貸出/対象は教育関係職員で、1人3冊まで。期間は2週間です。電話連絡で1週間の貸出延長可、返却は郵送も可能です。

貸出カード登録/申込書に必要事項を記入のうえ、住所・氏名を確認できるもの(免許証等)をご提示ください。

複写サービス/著作権法の範囲内で、資料のコピーができます。1枚10円(白黒のみ)

開館日・開館時間/月~金曜日 9:00~17:00

土曜講座のある日 6/27, 7/4, 7/25, 8/29, 10/31, 11/14, 12/12, 1/16

※各開館時間は、ホームページでご確認ください。

問合せ/電話022-784-3549(研究開発班), E-mail: m-navisys@edu-c.pref.miyagi.jp

2 Mナビ・ホームページで公開している情報

URL <http://www.edu-c.pref.miyagi.jp>, トップページ→学校支援→カリキュラム開発支援室

○当センターの研究成果/「防災教育ハートフルパックの開発と活用」「地域を題材にした英語教材の作成と活用(小学校)」など、登録711件

○全国の研究紀要等の目録情報/「主体的に学び続ける児童生徒の育成を目指して」(秋田県), 「学級規模が児童生徒の学力に与える影響とその過程」(国立教育政策研究所)など、登録89,355件

※研究紀要等の内容は、Mナビにご来館のうえ、閲覧してください。



27年度土曜講座 Pick up !

～本年度開講される土曜講座を紹介します～
※一般県民の方も受講可能な講座をピックアップしました。



<特別支援教育公開講座①>

演題:「こころの音が聞こえるとき ～子供を見つめ、支え、生きる力を育むこと～」

講師:昭和大学大学院 保健医療学研究科 准教授 副島 賢和(そえじま まさかず) 氏

日時:平成27年7月4日(土) 13:00～15:30(定員200人)

テレビドラマ「赤鼻のセンセイ」のモデルであり、昭和大学内の院内学級での活躍はNHKの『プロフェッショナル』でも取り上げられています。院内学級で学ぶ子供だけでなく、不登校や東日本大震災により心のケアが必要な子供に継続的に関わっておられます。子供に次の一步を踏み出す力をもたせるために、周囲でどのように支えることができるのか、自らの体験を基にお話いただきます。

<ふるさと宮城の教育講演会>

演題:「夢に向かって(仮)」

講師:タタル・ヘンリ 氏 (ヴァイオリニスト)

木下順子 氏 (ピアニスト)

日時:平成27年10月31日(土) 13:30～15:30(定員200人)

本年度の「ふるさと宮城の教育講演会」は、仙台フィルハーモニーのヴァイオリン奏者のタタル・ヘンリ氏と、夫人で仙台在住のピアニスト木下順子氏を講師としてお迎えします。お二方は「ARTWAY DUO」として、日本国内はもちろん、世界的にも活躍中の演奏家です。また、各種チャリティーやボランティア活動にも積極的に取り組まれていらっしゃることから、講演会当日は、どうやって夢を叶えてきたか など、貴重なお話をいただけるものと思います。



<特別支援教育公開講座②>

演題:「夢と希望を持った子育てを ～絵本は必要なときに人生を照らす灯～」

講師:家庭文庫「だいちゃん文庫」主宰 佐々木 博美(ささき ひろみ) 氏

日時:平成27年12月12日(土) 13:00～15:30(定員200人)

佐々木代表はダウン症のお子さんの子育てと認知症の御家族の介護、自身の病気との闘い、東日本大震災から学んだこととお話しくださいます。ダウン症の息子さんが初めて話した言葉が、読み聞かせの絵本の一筋だったことをきっかけに「障害児にこそ絵本を！」そして「親も夢と希望をもった豊かな子育てを！」をスローガンに活動を続けています。この体験を基に心温まるお話をいただきます。



※申込方法については総合教育センターホームページ「総合案内—土曜講座」をご覧ください。

※受講者は公共交通機関を利用願います。

(担当:総合教育センター企画調整班)

電話:022-784-3548 FAX:022-784-3571)

